

町内会の方々との 楽しさあふれる音楽交流会

教育課程上の位置付 **音楽科**

実施概要

地域住民の方々を招いての交流は、今回初めてです。活動は、音楽交流を行いました。始めに、小学部1年生から6年生までの児童13名が、「校歌」、童謡「お馬が通る」、「気球に乗ってどこまでも」を歌いました。続いて、参加者の内3名が持参した楽器（ハーモニカ、オカリナ、尺八）の音を聴き、触れる体験をしました。最後に、参加者の演奏の下、全員で「村祭り」、「ふるさと」、「夕焼け小焼け」の3曲を歌い、活動を終了しました。

活動参加者 当校 児童…13人 担当教員…13人
内訳 交流先 参加者…5人

交通手段 当校と台町四丁目相生会との距離はおよそ400m
徒歩で来校 約5分



交流は、全員による歌唱と演奏で最高潮に

活動報告 実施日：10月4日(木)

始めに、児童が作成したプログラムと歌詞カードを、参加者にプレゼントしました。続いて、児童が歌を3曲歌い、3曲目は児童がパートに分かれ、時に手拍子を添えて歌い、歌い終わると、参加者から拍手が起きました。その後、お返しに、参加者は持参の楽器（ハーモニカ、オカリナ、尺八）を演奏した後、楽器を児童に触れてもらいました。児童が、試し吹きで出た音に歓声を上げたり、オカリナの音に「鳥さんみたいな声」、「きれいな音」と話したり、尺八を一生懸命吹いたりする姿に、参加者は微笑んでいました。

最後に、児童が鈴を鳴らしながら3曲を歌い、参加者も楽器で合わせ、歌い終わると全員の笑顔と拍手で活動を終了しました。

当日のスケジュール

- 13:00 学校、団体、SSC、都教委4者事前打合せ（視聴覚室）
参加者来校、音楽室に集合、待機
- 13:30 始めの言葉
・児童作成のプログラムと歌詞カードを参加者にプレゼント
・児童と参加者が自己紹介
- 13:40 児童全員の歌唱
・「校歌」、童謡「お馬が通る」、「気球に乗ってどこまでも」
- 13:47 参加者によるハーモニカ・オカリナ・尺八の演奏と触察
- 14:05 参加者の楽器演奏に合わせて、全員で歌唱
・「村祭り」、「ふるさと」、「夕焼け小焼け」
(生徒がひもで結んだ鈴を手にとって鳴らしながら歌唱)
- 14:15 終わりの言葉（児童）
参加者を拍手でお見送り

■活動のために準備したもの

歌詞カード集（表紙は児童が自由な絵や貼り絵を描き、裏表紙に学校キャラクターや学校名の点字を配し参加者の方用に作成）

■工夫したところ

わが国で親しまれ、子供から高齢者まで世代を超えて楽しめる「村祭り」、「ふるさと」、「夕焼け小焼け」の3曲を取り上げました。鈴のついた輪を手にとって鳴らしながら歌うなど、一体感が味わえるような活動場面を設定しました。

■実施にあたって注意したところ

使用している楽器がどのようなものなのか触察できる活動を設定して、直接参加者と積極的に関わられるような機会を作りました。

■良かったと思うところ

最初の自己紹介で児童の好きなことの発表をしたことで、お互いの緊張感がとれ、穏やかな雰囲気の中で交流を深め、親近感を増すことができました。

■今後に向けての学校からの抱負

音楽交流を通して地域の方々となつなっていく活動を今後も継続し、共生社会の実現を目指していければと思います。

当校は幼稚部・小学部・中学部・高等部を設置する視覚障害特別支援学校です。昭和5年開校当初より地域に根ざした活動を行っています。地域の小学校・中学校・高等学校での理解啓発のための出前授業や、町内会との連携・協力による学校開放を実施してきました。社会貢献活動は、これまでに小学部が高齢者施設で歌の発表会を行っています。

活動の感想

児童・教員の感想

児童

・オカリナを初めて見ました。オカリナでうぐいすの鳴き声がかわいかったです。
・緊張したけど、皆さんが私たちの歌を聞いて喜んでくれたことがうれしかったです。尺八が分解できることを初めて聞いて、リコーダーみたいだなと思いました。

教員

参加者の方々には歌を披露したり、演奏する楽器を触りながら説明を聞いたりするなど楽しい一時を過ごすことができました。遠方から通学している児童が多い中で、学校周辺の地域の方々との交流を通してふれあう機会がもてたことは、地域の方々となつなっていく共生社会の実現の一步が踏み出せたように感じました。児童の経験が広がった音楽交流となりました。

団体の参加者・担当者の感想

参加者

・昨夜は緊張で、3時過ぎまで眠れませんでした。でも子供の顔を見たら元気をもらえました。今度、声を掛けてみます。
・ハンディキャップを感じさせない子供の明るさ、元気をもらいました。今後も続けてほしいです。
・とても緊張したが、子供たちの顔を見たら「スーッと」緊張がとけました。「あー、よかったな」と思いました。

相生会会長

今回参加して、それまで緊張していた私たちは、児童たちが入場して顔を合わせた途端に緊張がほぐれました。穏やかな気持ちになつていくのを感じ、児童たちのもっている不思議な力に驚きました。音程のしっかりした素晴らしい合唱を聴き、プレゼントされた歌集を用いて皆さんで歌いました。ハーモニカ・オカリナ・尺八に触れている時の児童たちのつぶやきが印象的です。全員が「この次もまた」との思いでした。ありがとうございました。

■実施までの経過 ※(コ)：コーディネーター

- 6月26日 (コ)、当校を訪問。校長、副校長、主幹教諭2名と打合せ
- 7月11日 (コ)、副校長、主幹教諭、町内会と活動内容、日程、保険内容の確認等打合せ
- 8月8日 (コ)、副校長、非常勤教諭他3名と町内会で打合せ。活動内容を決定
- 9月8日 (コ)、副校長、主幹教諭他1名と町内会と打合せ。活動進行、日程を決定
- 9月28日 (コ)、町内会と最終打合せ



鍵盤のないハーモニカにびっくり



また、一緒に演奏しようね

交流先



八王子市シニアクラブ 台町四丁目相生会

住 所：東京都八王子市四丁目-39-4-301

■ 団体概要

平成30年11月現在 会員数125名
会長1名、副会長3名
組 織：運営委員会、役員会、カラオケ部、スポーツ民踊部、書道部、グランドゴルフ部、輪投げ部、ふれあい公園アドプト活動の会